

第5部 帰宅困難者対策

第1章 主要駅等における混乱防止対策の充実

地震発生直後は、鉄道機関の運行停止等により、ターミナル駅や大規模集客施設、繁華街等では多数の滞留者や帰宅困難者が発生します。帰宅困難者の安全の確保及び近隣地域の混乱を防止するため、主要駅等における混乱防止対策を推進します。

中区の予測帰宅困難者数(平日昼12時)	通勤	通学	私用(買い物他)	合計
	47,840人	4,934人	7,592人	60,366人

第2章 帰宅困難者事前対策

第1節 主要駅等の混乱防止対策の推進

主要駅等において、鉄道事業者、バス事業者、駅周辺事業者、所轄警察署、区役所等を構成員とする関係機関震災対策協議会を設立し、情報受伝達マニュアル等の整備や定期的な防災訓練を実施するなど、平常時からの連携強化を図ります。

第2節 一時滞在施設の指定

区本部長は、地震により大勢の帰宅困難者の発生が予測される駅等を中心に、滞留者の安全の確保と災害関連情報を提供するための帰宅困難者一時滞在施設を指定しています。

指定にあたっては、帰宅困難者の受け入れを円滑に行うとともに、地域住民が使用する避難場所と混同しないよう、駅周辺の公的施設及び民間施設等に対し協力をいただきながら拡充を図ります。

第3節 帰宅困難者の発生抑制に関すること

企業等の事業所に対し、交通機関途絶時の従業員の留め置きや時差帰宅について協力を促します。

第4節 備蓄品の確保について

帰宅困難者への支援として、帰宅困難者一時滞在施設等に、水・食料・アルミブランケット・トイレパック等を備蓄します。また、企業等の事業者は、一斉帰宅抑制に備えて3日分の備蓄の確保に努めます。

第3章 帰宅困難者対策

第1節 区本部の対応

区本部長は、駅等に避難者・駅等対応班を派遣し、鉄道事業者、駅周辺事業者、警察等と連携し、駅等周辺の滞留者や帰宅困難者の状況等を把握するとともに、災害情報等の広報及び避難誘導等を実施します。

また、「帰宅困難者一時滞在施設検索システム」等を利用して、区本部と一時滞在施設との間で、施設の開設状況や運営状況等を把握し、必要な支援を行います。

第2節 関係機関の対応

1 鉄道事業者の対応

鉄道事業者は、利用者の安全確保を図るため、鉄道運行情報等の提供や安全な場所への避難誘導を行うとともに、施設内に、待機できる場所の確保が可能な駅においては、帰宅困難者の受入れ等を実施します。

また、必要に応じ、徒歩帰宅を支援する情報提供や、一時避難場所や一時滞在施設への案内又は誘導、代替輸送手段等を確保します。

2 企業等の事業所の対応

企業等の事業所は、帰宅困難者の発生を抑制するために、事業所等の従業員の施設内待機を図り、災害関連、公共交通機関の運行状況等の情報提供や必要に応じた備蓄物資等の提供を実施します。

また、共助の観点から外部の帰宅困難者(来社中の顧客や施設周辺にいた帰宅困難者)の受入れに努めます。さらに、可能な範囲で、被災者支援・復旧活動(特に要援護者の保護等)を実施します。

3 一時滞在施設の開設

区本部は、地震により多くの帰宅困難者が発生した場合、事前に指定した施設等に対して、帰宅困難者一時滞在施設の開設を要請します。なお、区本部と連絡が不能の場合は、施設の判断で開設を開始します。

帰宅困難者一時滞在施設が開設された時は、区本部から関係機関に連絡し帰宅困難者に情報提供等を行います。

一時滞在施設の開設期間の目安は、翌朝までとし、状況に応じて2日目(発災翌日)は区に1施設程度、3日目以降は市全体でパシフィコ横浜及び横浜アリーナの2施設とします。

【帰宅困難者一時滞在施設(公共施設)】

平成26年3月3日現在

番号	駅	施設名	住所
1	桜木町駅・みなとみらい駅	横浜市市民活動支援センター	桜木町1丁目1番地56
2	桜木町駅・みなとみらい駅	海上保安庁横浜海上防災基地	新港一丁目2番1号
3	馬車道駅	横浜第2合同庁舎(財務省横浜財務事務所管理)	北仲通5丁目57番地
4	関内駅・馬車道駅	関内ホール	住吉町4丁目42番地1
5	関内駅・馬車道駅	横浜市青少年育成センター(関内ホール地下1階)	住吉町4丁目42番地1
6	関内駅・日本大通り駅	開港記念会館	本町1丁目6番地
7	関内駅	横浜文化体育館	不老町2丁目7番地
8	元町・中華街駅	神奈川県立県民ホール本館	山下町3番地1

【帰宅困難者一時滞在施設（民間施設）】

平成 26 年 3 月 3 日現在

番号	駅	施設名	住所
1	桜木町駅	ブリーズベイホテル	花咲町1丁目 22 番地2
2	桜木町駅	横浜桜木町ワシントンホテル	桜木町1丁目 101 番地 1
3	桜木町駅	クロスゲート	桜木町1丁目 101 番地 1
4	馬車道駅	ナビオス横浜	新港二丁目1番1号
5	馬車道駅	ゴールドジム横浜馬車道本館	弁天通4丁目 67 番地 1 馬車道スクエアビル
6	馬車道駅	ゴールドジム横浜馬車道別館プールアネックス	本町4丁目 43 番地 セボン関内第2ビル
7	日本大通り駅	ホテル JAL シティ関内 横浜	山下町 72 番地
8	日本大通り駅	シルクセンター国際貿易観光会館	山下町1番地 301
9	日本大通り駅	産業貿易センター	山下町2番地
10	日本大通り駅	日本赤十字社神奈川県支部	山下町 70 番地 7
11	関内駅	ホテル横浜ガーデン	山下町 254 番地
12	関内駅	割烹蒲焼わかな(鈴木ビル)	港町5丁目 20 番地
13	関内駅	関内新井ビル	尾上町1丁目8番地
14	元町・中華街駅	スターホテル横浜	山下町 11 番地
15	元町・中華街駅	ホテルニューグランド	山下町 10 番地
16	元町・中華街駅	ホテルモントレ横浜	山下町6番地1
17	元町・中華街駅	ローズホテル横浜	山下町 77 番地
18	元町・中華街駅	創価学会神奈川文化会館	山下町7番地1
19	元町・中華街駅	エスカル横浜	山下町 84 番地
20	元町・中華街駅	メルパルク横浜	山下町 16 番地
21	元町・中華街駅	神奈川芸術劇場	山下町 281 番地
22	元町・中華街駅	ハロー会議室元町中華街(アメリカ山公園内)	元町1丁目 11 番地3 アメリカ山公園3階
23	元町・中華街駅	山手迎賓館	山手町 184 番地 1
24	石川町駅	学校法人 横浜山手中華学園	吉浜町2番地 66
25	伊勢佐木長者町駅	利世館	伊勢佐木町5丁目 127 番地
26	根岸駅	三菱重工業株式会社横浜製作所本牧工場	錦町 12 番地

4 徒歩帰宅者への支援

徒歩帰宅者の支援拠点（水道水、トイレ、災害関連情報の提供等）となっているガソリンスタンドやコンビニエンスストア、ファミリーレストラン等に加え、区本部長は事前に指定した幹線道路沿いの公共施設等を支援拠点として開設します。



災害時帰宅支援ステーションステッカー



災害時徒歩帰宅者支援ステーションステッカー

5 帰宅困難者に対する物品や情報提供の支援

駅周辺の主要な商業施設では、帰宅困難者一時滞在施設が開設されるまで間、可能な範囲で滞留者の一時的な退避場所の利用や帰宅困難者に対する飲食物品の購入支援等を行います。

また、災害発生時に、どの一時滞在施設で受入れ可能なかなどの情報を、スマートフォンや携帯電話等で検索できる「帰宅困難者一時滞在施設検索システム」を整備しています。

防災コラム 6

～帰宅困難者訓練～

区内には鉄道駅 12 駅があり、震災発生時には、鉄道機関の運行停止により、主要駅を中心に大量の滞留者や帰宅困難者の発生が予測されることから、区は日頃から鉄道機関等と協力し、防災訓練の実施など混乱防止対策を推進しています。

東日本大震災の教訓を忘れないよう中区では毎年 3 月に帰宅困難者訓練を実施しています。

平成 23 年度は JR 関内駅で、平成 24 年度は JR 桜木町駅で、平成 25 年度はみなとみらい線元町・中華街駅で訓練を実施しました。訓練では、鉄道事業者・警察・消防等が連携して実施しましたが、平常時からの連携強化を図っています。

